



北核実験

6回目 ICBM用水爆「完全成功」 M6.1の揺れ



核の兵器化事業を指導する金正恩朝鮮労働党委員長。日時是不明。朝鮮中央通信が3日報じた (朝鮮中央通信=朝鮮通信)



北朝鮮が実施した核実験の概要

1回目	プルトニウム型か
2回目	プルトニウム型か
3回目	ウラン型またはウランとプルトニウム型か
4回目	北朝鮮が「水爆実験に成功」と主張
5回目	北朝鮮が「核弾頭爆発実験に成功」と主張
6回目	北朝鮮でマグニチュード6.1の地震波

【ソウル=桜井紀雄】日本政府によると、日本時間の3日午後0時29分ごろ、北朝鮮でマグニチュード(M)6.1の地震波が観測された。河野太郎外相は同日、「北朝鮮が核実験を行ったと政府として断定する」と外務省で記者団に述べた。北朝鮮の朝鮮中央テレビは、大陸間弾道ミサイル(ICBM)搭載用の水爆実験に「完全成功」したと伝えた。

北朝鮮による核実験は6回目。咸鏡北道豊溪里の実験場で行われたとみられる。北朝鮮は9日に建国記念日を控えており、記念日を前に核実験に踏み切ること、国際社会による制裁の中でも断固、核ミサイル開発を推進する意思を示したものだ。安倍晋三首相は3日午後、官邸で記者団に対し、「北朝鮮が核実験を強行したとすれば、断じて容認できない」と強く非難。国家安全保障会議(NSC)を開催した。

朝鮮中央通信は3日朝、金正恩朝鮮労働党委員長が核兵器研究所が新たに製造した大陸間弾道ミサイル(ICBM)に搭載する水爆を視察したと報道。金委員長は「核戦力完成に向けた最終段階の研究開発を締めくくる総力戦を展開しなければならぬ」と強調していた。

核実験は金正恩政権に入ってから4回目。米国でトランプ政権が発足した後、初となる。

北朝鮮は8月上旬、米領グアム沖への弾道ミサイル発射計画を公表。金委員長がその後、「米国の行動を見守る」と発射の保留を示唆し、一時緊張緩和に向かうとの観測もあった。しかし、米韓両軍が先月末まで合同軍事演習を実施した際、北朝鮮は強く反発。8月29日には、中距離弾道ミサイル「火星12」を、北海道上空を通過する形で太平洋側に発射し、日米への対決姿勢を鮮明にしていた。